

HASTULINA

OYAMA 1961

T. S. ~~CASTA~~ = ALBULA

Genus *Hastulina* n. g. ミガキタケ属

Type species: *Terebra casta* Hinds ミガキタケ

原殻は最初やゝ円錐状を呈し、それに続いて1階特に脹れた螺層があつてから正常な螺層になる。縦肋は螺層全面にわたるか又は上部に限られる。

従来上述の *Hastula* に含められたが、本属の原殻は階数多く、螺層の数は少く、地色は主として白いから容易に区別される。

*H. casta* (Hinds, 1843) ミガキタケ

*H. medipacifica* (Pilsbry, 1921) var. シワミガキタケ

*H. solida* (Deshayes, 1857) ゴバンタケ

OYAMA 1961 Venus 21 p. 185

*Hastulina* Oyama, 1961, Venus 21 (2): 183. Type species, *Terebra casta* Hinds, 1844 = *Hastula albula* (Menke, 1843), recent, Indo-Pacific. B & C 1987

*Hastulina* Oyama, 1961 ミガキタケ属

本属は熱帯性と云へる属の1つであつて熱帯地方から本邦の黒潮の当る沿岸に及ぶ。主としてサンゴ礁が発達する地方の浅海の砂地の棲む。

*H. casta* (Hinds, 1844) ミガキタケは熱帯地方から潮岬までの黒潮が当る地方の浅海に産する。

*H. medipacifica* (Pilsbry, 1844) var. シワミガキタケはハワイ原産であるが、邦産の型は沖縄から高知県西南部に分布する。

*H. solida* (Deshayes, 1857) ゴバンタケは沖縄の久米島から奄美大島に至る地方の浅海に産する。

OYAMA 1961 Venus 21 p. 450